



# 図書館活用法



みなさんこんにちは。

この課題では、図書館活用法と題して、大学での勉強に欠かせない図書館資料の探し方について学んでいただきます。

総合図書館（豊中）

生命科学図書館（吹田）

## 大阪大学の4つの図書館

理工学図書館（吹田）

外国学図書館（箕面）

大阪大学には4つの図書館があります。

豊中キャンパスにある総合図書館、吹田キャンパスにある生命科学図書館と理工学図書館、そして箕面キャンパスにある外国学図書館です。

学生証があれば、すべての図書館を利用することができます。

また、よく利用する図書館に、他の図書館から資料を取り寄せることもできます。

## 課題の目標とメニュー

**目標：レポート作成に必要な資料を図書館で探せるようになる**

- **第1章 レポートとは**
- **第2章 レポート作成における資料の種類と選択**
- **第3章 図書館資料の探し方**



この課題の目標とメニューをご紹介します。  
目標は、レポート作成に必要な資料を図書館で探せるようになることです。

この目標を達成するために、  
第1章では、レポートとは何か、何が求められているのか、について学びます。  
第2章では、レポートを作成する際に使う資料の種類と、その選び方について学びます。  
第3章では、図書館資料の探し方について学びます。

なお、この課題では、レポートの書き方自体については詳しく触れません。  
レポートの書き方について詳しく知りたい場合は、阪大生のためのアカデミック・ライティング入門に、情報がまとめられているので、そちらを読んでみてください。

この動画では第1章の内容を学んでいきます。

# レポートとは

	求められること	例
説明型	授業や課題図書の内容を理解したかを示す	授業のまとめレポート 本の要約レポート
報告型	実習での成果を報告する	見学レポート 看護・臨床・教育実習報告
実証型	与えられたテーマについて仮説を立て、 実験や調査の結果をもとに実証する	「ボルダの振り子を用いて重力加速度gを 正確に測定し、レポートにまとめよ。」
論証型	与えられたテーマについて問いを立て、 根拠となる情報を用いて、問いに対する 自分の答えを論理的に示す	「日本社会と高齢化について、4000字以内 で自らの意見を述べよ。」

(参考：井下千以子 (2019) 『思考を鍛えるレポート・論文作成法』第3版, 慶應義塾大学出版会, p.40.)

レポートはいくつかの種類に分けることができます。  
この表のように、大きく4種類に分けられますが、今回は、一番下の「論証型レポート」を念頭に置いて話を進めます。

「論証型」のレポートで求められることは、「与えられたテーマについて問いを立て、根拠となる情報を用いて、問いに対する自分の答えを論理的に示す」ことです。

具体的な課題例としては、「日本社会と高齢化について、4000字以内で自らの意見を述べよ。」といったものがあります。

論証型レポートで求められる「根拠となる情報を用いる」とはどういうことでしょうか。

実際のレポート例を見て、確認してみましょう。

## レポート課題 「日本社会と高齢化について、4000字以内で述べよ。」

### 悪い事例

「高齢社会における労働力の確保についてー外国人労働者受け入れの観点からー」  
○学部 A123456 阪大 太郎

近年日本では急速に少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少し始めている。労働力の減少は日本経済に悪影響を及ぼすと考えられる。

裏付けとなる資料が示されていない！

では、今後日本はどのように労働力を補っていけばよいであろうか。本論では、外国人労働者を受け入れる必要があることを論じたい。

これは「日本社会と高齢化について、4000字以内で述べよ」という課題に対して提出されたレポートの冒頭部分です。

一見良さそうな書き始めですが、根拠となる情報が示されていないため、論証型レポートの要件を満たしていません。

具体的には、「少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少し始めている」ことや「労働力の減少は日本経済に悪影響を及ぼす」ことの裏付けとなる資料が示されていません。

では、根拠となる情報を示している良い例を見てみましょう。

## レポート課題 「日本社会と高齢化について、4000字以内で述べよ。」

### 良い事例

「高齢社会における労働力の確保についてー外国人労働者受け入れの観点からー」  
○学部 A123456 阪大 太郎

近年日本では急速に少子高齢化が進み、生産年齢人口は1996年以降減少の一途をたどっている(1)。労働力の減少は優秀な人材の確保を困難にし、日本経済に悪影響を及ぼす(2)。

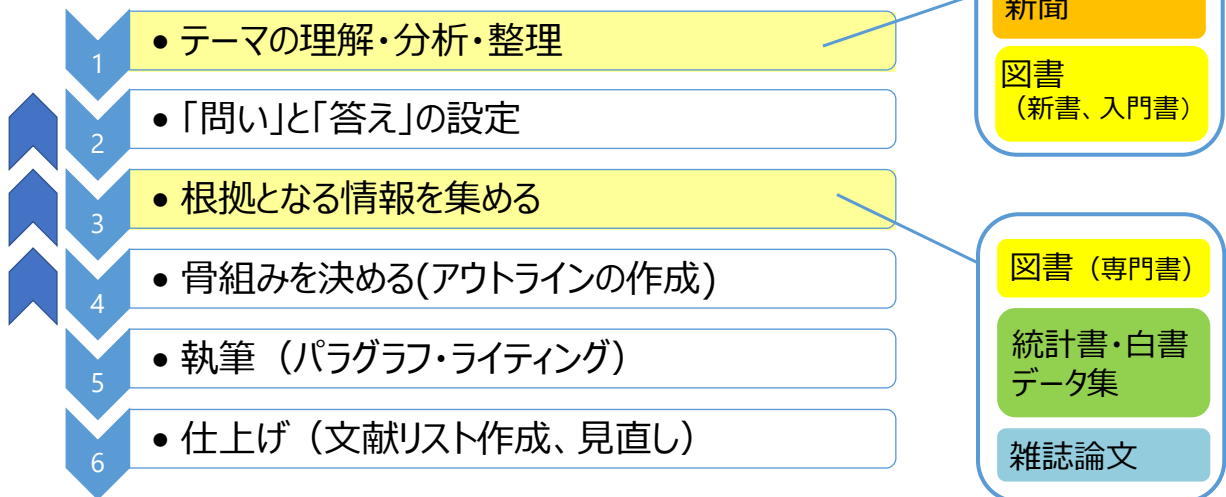
では、今後日本はどのように労働力を補っていけばよいであろうか。本論では、外国人労働者を受け入れる必要があることを論じたい。

- 
- (1) 内閣府 (2016) 「高齢化の状況」『高齢社会白書』平成28年版 p.2-6  
(2) 小崎敏男 (2006) 「人口減少と労働市場」大淵寛, 森岡仁編著『人口減少時代の日本経済』原書房

こちらの例では、資料から得られた具体的なデータや理由に言及しています。そして、用いた資料をページの末尾に注として示しています。このようにすると、論証型レポートの「根拠となる情報を用いる」という要件を満たすことができます。

これはあくまで根拠の示し方の一例で、他にも様々な示し方があります。詳しくは、『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門』を参照してください。

# レポート作成の流れ



(参考：堀一成・坂尻彰宏 『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門』  
第4版, 大阪大学全学教育推進機構, p. 7.)

第1章の最後に、レポート作成の流れを紹介します。

この図は、論証型レポートを作成する際の流れを示したものです。

レポートを作成するときには、いきなり書き始めるのではなく、ステップ1からステップ6までの流れに沿って作成すると上手くいきます。

実際にはこの流れを行ったり来たりすることがありますが、基本的に、この図で示した流れに沿って作成するとよいでしょう。

この中で、ステップ1とステップ3では情報収集が重要です。

具体的には、ステップ1の「テーマの理解・分析・整理」では、「参考図書」

「新聞」「新書・入門書」といった資料が役に立ちます。

ステップ3の「根拠となる情報を集める」では、「専門書」「統計書・白書・データ集」「雑誌論文」などが必要になってきます。

第2章では、これらの資料の特徴について詳しく学んでいきます。

第1章の動画はこれで終了です  
第2章の動画に進んでください

第1章 おわり (ナレーション VOICEVOX:波音リツ)

第1章の動画はこれで終了です。  
第2章の動画に進んでください。